

郡市医師会めぐり 第 17 回

光市医師会



光市は美しい海と山と、そして柔らかい陽光に包まれた優美な町です。島田川と田布施川のふたつがあり、両河川の上流部には田園地域、下流部のデルタ地帯には周南工業地帯の東部に位置した工業地域があり、新日鉄住金や武田薬品の工場が並び立っています。白砂青松の室積、虹ヶ浜海岸や象鼻ヶ岬ぞうびがさきなど風光明媚な海岸部は「瀬戸内海国立公園」に、また、青々とした森の石城山いわきさんを中心とした山間部は「石城山県立自然公園」に、それぞれ指定を受けています。

瀬戸内海は古くから軍事と物流の要衝でした。戦国時代までその水路を牛耳っていた村上水軍は、関ヶ原の合戦で毛利氏について敗北し、その後周防大島に転封、長州藩の船を援護する御船手組おふなてぐみとして毛利氏に仕えたそうです。海に生きる瀬戸内海の人たちのからだには「その血」が流れているような気がしてなりません。光市室積は北前船の西回り航路の寄港地となっていて、江戸時代より商業の港として栄えました。象鼻ヶ岬ぞうびがさきにある峨眉山普賢寺は海難守護の仏様で普賢寺祭

りは今でも盛況です。

初めて町制施行したのが室積町でした（明治 39 年）。その後勅命により皇紀 2600 年（昭和 15 年）に島田地区こうしやうに呉工廠級の規模を目指して海軍の工場が造られ、呉と同じように一字がいいと光海軍工廠と名付けられました。それに伴いその地を光町とし、昭和 18 年光町と室積町が合併の上で市制施行し光市（初代）が発足しました。平成 16 年 10 月 4 日に光市と大和町が合併して現在の光市となっています。昭和 20 年の敗戦の前日（8 月 14 日）、B 29 百五十機の 5 回にわたる空襲で光市は灰燼と化し、職員・動員学徒等 700～800 名の犠牲者がでました。戦争の深い痕跡はいま、光廠会記念碑と光井港の回天の碑に象徴されます。今はその地域に工業地帯が広がっています。疑問が二つ、山陽鉄道がなぜ室積を通さなかったか？なぜいま室積は室積村といわれるのか？興味深い疑問点です。一つの合点は光市役所から柳井に向けて走る約 2 キロのまっすぐの道、これは海軍が滑走路を造ろうとした跡だということ。うむっ！歴史はおもしろい！

光市医師会は医療施設 36、会員数 90 名足らずのこぢんまりとした所帯です。たかだか人口約 5 万人のところ、二つの市立病院があり、その整理統合・経営改善しんぎんに関係者は呻吟しているようです。甲斐あってここ 2～3 年は黒字に好転しています。社団法人光市医師会設立は昭和 23 年 2 月です。昭和 43 年より旧室積町役場を医師会館として改造・使用していましたが、昭和 48 年 4 月に清山商工会議所内に移転、平成 7 年 5 月の商工会館移転に伴い医師会事務局を島田 4 丁目



島田川河岬

に移しました。過去の歴史を振り返りましても、医師会館活用にこぎ着けるまでの資金的・政治的な尽力には並々ならぬ努力があったようで、諸先輩方には感謝とともに尊崇の念を禁じ得ません。ゆりかごから墓場までとの光市長の言葉どおり、当地域には二つの産科を受けもつ施設があり、併せますと年間 2,000 例以上の出産があります。光市での出生届は毎年 450 人前後ですから 4 分の 3 以上は他地域からということです。当市では「子ども・子育て支援事業計画」の策定を進めています。また、介護施設も他地域より飛び抜けて多く、今後、高度高齢化に伴う混乱に対しても他の地域よりは恵まれた環境にあるといえます。近くには徳山中央病院や周東総合病院、ちょっと足を伸ばせば岩国医療センターや山口県立総合医療センターがあり、医療環境としても恵まれた地域です。光市立病院に脳外科や小児科の常勤医がいないために夜間救急を他地域に依存していることもあり、周南医療圏の二次、三次医療機関には大変お世話になっております。周南地域休日・夜間こども急病センターには光市の小児科の先生も参加して活躍しています。平成 13 年 4 月に光市総合福祉センター内に休日診療所を開設し、平成 25 年 4 月に新公益法人制度施行への移行に伴い一般社団法人光市医師会を設立しております。大和町合併の際には市立病院の移行のみで医師会の合併はなく、幸いにもさしたる混乱もなく今に至っております。

当医師会の特徴は勉強会の多いことでしょうか。平成 24 年度学術講演会 14 回、市立病院と



光市御手洗湾の「第六回みたらい湾花火大会」
平成 25 年 10 月 12 日（土）



光市休日診療所

の合同症例検討会 2 回、市民公開講座 4 回行っているほか、園医の集いや AED 講習会など住民教育も行っています。また、最近は公開講座を含め市民に近い医師会を目指して地域の新聞に「かかりつけ医通信」を 10 回載せていただきました。

左の写真は 6 月 16 日の第 96 回山口県医学会総会のあとに世話したみんなと撮った写真です。今後さらに周囲医療機関との病診連携を深め、よりよい医療を行えるよう努力いたしますのでよろしくお願ひ申し上げます。

〔光市医師会広報担当理事
佃 邦夫〕



第 96 回 山口県医学会総会
平成 25 年 6 月 16 日（日）光市民ホール